磐城新聞
一日
定價一ケ月金六拾五錢　郵稅共金五拾錢
廣告料　金一段拾錢　金六拾錢　金九拾錢
五號以上一段一行　同一行
（日曜祭日翌日休刊）
昭和七年一月一日第三種郵便物認可
發行人　柏木哲
福島縣磐城郡平町大字田町字六番地
發行所　磐城新聞社
（電話五六四番）

昭和七年迎春賦

曉告ぐるくだかげの聲の何と明朗なる事よ。希望に充ち滿ちた昭和七年を迎ふる人々は高臺の社寺からお勤めの鐘鼓が鳴り出す以前から起き上つて東天の白み初むるを待ち遠しがる。斯くして驛のサイレンが、城山の鐘が、ハチ切れそうな底力と南歐の海を想はする樣な明るい氣分を以て鳴り響くと其處にいとも賑かな而も希望の光燦爛たる元旦情調が生れて來る。吾人は此の雰圍氣の裡に歡然として昭和七年を祝福し度い。

日本的の昭和六年。世界的の一、九三一年。蓋し顧て大に記憶すべき年であると思ふ。乃ち民衆は擧げて打ち續く不況の黑旋風に捲き込まれ各種產業の萎微枯渇は炭況の向背によつて死命を制せらるる地方人をして苦況のドン底に喘がしめた。國家的問題に支那事件の突發がある、而も世界各國をして飛耳張目せしめた該問題は曩に國際聯盟理事會に於て我帝國の儼然たる態度を示し列國代表を睥睨して建國三千年來の國威を一層宣揚する一面北滿の野に於ける暴戾支那の膺懲は我が忠勇なる將士によつて連戰連勝漸く全兵匪の掃蕩が進められつつある。之れ炳として八紘に輝く我が聖天子の稜威と列聖祖宗の餘光に外ならざるを念ふ時、誇るべき日東帝國に生を享けたるを强く意識して其間抃舞欣躍の情を禁ずる能はざるものがある、飜つて之れを內に觀るに所謂積極進取の國策を標榜する政友會內閣の出現は永きに亘る各方面の沈滯氣分を拂拭し掩ふべからざる一脈の活氣は今や有形的に閭巷の隨所に迄磅礴しつつあるではないか。

新年を目出度しとして壽ぐのは只單に我等の傳統的觀念慣習的儀禮の上からばかりするものではない。自然界の現象から觀ても。新年は實に舊套を捨て新衣を着けて新らしき生活の旅路に入るものである。而して新生活の振り出しには光明が輝く、我等人類が傳統に新年を祝ひ來つたのは實にゆゑあるかなである、而も本年の新年は此の傳統的欣ひの外上述の如く國家國民として一入之を祝福すべき根據を有する。いでや豊榮昇る初日の出を仰ぎ乍らま白きいきを吐いて黎明を高告る鷄聲のやうな勇敢な行進曲を奏し乍らた互多幸多望なる昭和七年の第一歩を踏み出さうではないか！。

新春吟

島田忠夫

あらたまの年のはじめの今朝みればふる里の山白く雪積む
朝日子の輝き出づるひむがしの年明くる空たろがみまつる
新年のよろこびごころ思はむか吾れのかたへに幼な孀ゐて
明けしらむ窓の外には鳥のこゑ霜どくる音なべて長閑けき
わが孀に何か云ひつつ貧しさの元日の朝はたのしきものを
滿洲の嚴寒の中に年を迎ふ戰兵のとも思はざらめや
ちちのみの父がおこせし山鳥はうまらに煮たり酒を祝はな
年頭のよろこび心は貧しきに吾れに來りし孀に寄りつつ
あらたまの年の始めの醉ひごころおのれ唄ひておのれ舞ひつつ
霜の庭に雀おりて來てひそかなり萬南の實をついばみにけり
東京の友の誰れかれは打ち醉ひてゐま可笑しくぞ歩き居るらし
ひそかなる吾とわが孀あひ寄りつ元日の夕べ夕餉食すかも
みちのくの平の町の新年は兵多く出だし勇むとすらし
元日の日ぐれて出づる風さむし灯の下に寄りて歌書よみふくる
箱に倒ふつがひの山鳩もひそかなり霜の夜くだちただ靜けきを

加藤輝雄

あらたまの年の始めの物言ひて家びとと吾がむつびつつをり
元日の酒に醉ひしかば街に出でて風に吹かるる頬の寒けし
新年のよろこび心うすきかな今年はわれも何か仕遂げむ
年々にねがひは持ちて術なさよおほよそに常の日は過ぐすなり
十方に光あまねき元日の夕べとなれば風寒きかな

曉鷄聲

矢吹紫水

みちのくの山家の朝の靜けさの中よりきこゆにわとりの聲
あかつきとはやなれるらし家鷄の聲そここゝの山にこだます
新玉の年立ちかへる朝早み鷄啼けばうれしかりけり

曉雞聲

赤井嶽男

初日の出仰ぎ見ながらときつくる、くたかけのいき眞白なるかな

ラヂオ

…一日〔金曜〕…

仙臺JOHK

△前六、五〇B　曉の鷄鳴
△七、〇〇A　歲旦國威宣揚祈願狀況　靖國神社拜殿より中繼
△八、〇〇B　初鶯
△九、〇〇A　氣象通報
△九、三〇A　奉祝唱歌
△一〇、〇〇A　謠曲　觀世左近外
△一〇、三〇A　講演（年頭の辭）岩原放送協會々長
△正午A　時報　其他
△後、〇四〇A　箏曲長唄掛合
△一、二〇C　萬歲
△一、五〇A　獨唱と二重唱
△二、二〇A　競技（京大對慶大ラグビー試合狀況）
△三、四〇A　氣象通報
△六、〇〇A（子供の時間）お話　鳩山文相
△六、三〇B　特別講演（昭和七年展望）
△七、三〇A　常磐津
△八、〇〇A　放送舞臺劇（吉例改春會我）　幸四郎勘彌一座
△八、三五B　放送舞臺劇（黑手組廓達引）

…二日…（土曜）

△前九、〇〇A　氣象通報
△九、三〇B（子供の時間）童謠と唱歌
△一〇、三〇A　講演（年頭所感）三土遞相
△後〇、四〇B　新管絃樂
△一、一〇A　新日本音樂
△二、〇〇B　人形淨瑠璃　文樂座より中繼
△二、四五B　講演（松飾出世の細川）旭堂南陵
△三、四〇A　氣象通報
△六、〇〇B（子供の時間）童話劇（寶船）
△六、三〇B　特別講演（昭和七年展望）
△七、〇〇A　ニュース
△七、三〇A　落語（御慶）小さん
△八、〇〇A　長唄
△八、三〇A　ピアノ獨奏　山田均
△九、〇〇A　かるた朗吟

石城郡組合銀行

磐城炭礦株式會社　所長　菅原萬治郎

入山採炭株式會社　所長　吉田宗雄　副所長　大貫經次

古河礦業　好間礦業所　所長　下野十朗　係長　安孫子虎雄

小田炭礦株式會社　社長　萩原申八

福島炭礦株式會社　專務取締役　菊地德太郎

大倉　無煙炭礦　所長　尾藤憲祐

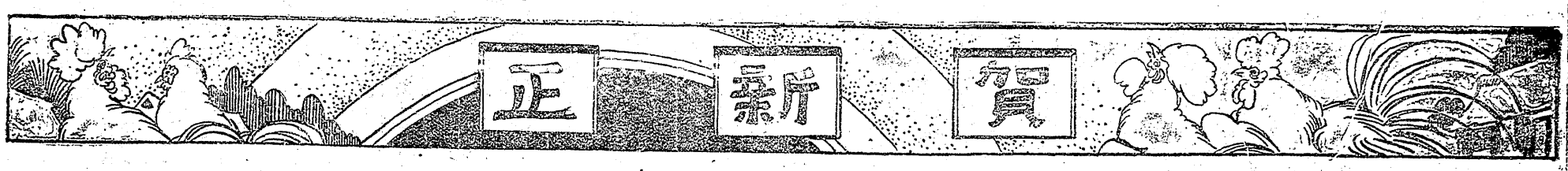
大倉　建國勞働自力會　會長　川波芳太郎

入山　立國勞働自治會　會長　松繁庄一

杉山炭礦　礦主　杉山今朝吉

松本德一　平窪村

不動澤炭礦



修舊興新

壬申歲旦寸感

平町長 伏見彥衛

乾坤一轉茲に昭和七年を迎ふ靜かに昨年を回顧すれば財界の不況益々深刻を加へ國家地方共に未曾有の財政難局に遭遇し國を擧げて其の打開に苦心せるの秋

◇突如滿洲事變 起り我が忠勇なる皇軍の將士今や滿洲の曠野に身命を賭して匪賊を掃蕩しつつあり更に英國の金本位停止は我が產業金融に甚大なる打擊を與へ我が國をして再び金輸出禁止を見るに至らしめ內外共に國民の最も緊張を要するの年でありました翻て本町自治の跡を觀るに昨年は實に多事多端年頭既に助役の故障あり廳內吏員及雇傭人の異動又役場廳舍の移轉等を要し此間に在りて

◇專ら町勢各般の進展と町負擔の輕減とを念として整理經營に力め上水道工事を始め豫定の事業に對し町財政の均衡に意を注ぎて之れを施設し幸ひにして大過なきを得ました、而して本年は此上水道擴張工事の完成と共に更らに企劃すべく實施すべき事件尠しとせず卽ち產業博覽會の開催、國道鋪裝の實現、尼子、鎌田兩橋架換の促進、縣蠶業取締支所の建設並に六間門橋梁の改築商業學校の移管

◇公會堂の建築 計劃等全山から在滿兵慰問金の募持に重要の事項であり、是等の事業は縣の施設及補助と町の發動と經營とに依り本年は此上水道擴張工事の完成と共に更らに企劃すべく實施すべき事件尠しとせず卽ち產業博覽會の開催、國道鋪裝の實現、尼子、鎌田兩橋架換の促進、縣蠶業取締支所の建設並に六間門橋梁の改築商業學校の移管

◇公會堂の建築 計劃等全山から在滿兵慰問金の募持に重要の事項であり、是等の事業は縣の施設及補助と町の發動と經營とに依り

喜の華會

彈初演奏會

鈴木佐喜勇社中

平町南町琴曲鈴木佐喜勇師社中の喜の華會にては來四日午後〇時半より同町南町を通する考であります。

雪崩れ込んだり 四十四萬の賀狀

昨春より一割增

平郵便局では年賀狀特別取扱最終日たる二十九日迄扱のため臨時雇十三名を使の受付總數は合計二十八萬用して連日五千通平均に押七百八十三通に達し五日迄寄せる賀狀を捌いてゐたがには引受、次越、配達合計今年は政變關係其他で昨年四十四萬一千八百八十五通より約一割增の豫想で特別に達する豫想である

日本キリスト教會堂に於て第三回喜の華會彈初演奏會（入場無料）を開催する由、因みに同會にては此の度の彈初會は質素を旨とし節約をはかり應分の慰問金を滿洲軍へ寄贈する意向である

模擬火災演習

來四日の早朝から

恒例平消防出初式

恒例の平消防組出初式は四日午前八時に平署前に集合組員百六十名を三組に分け同九時から舊江戸の俤を髣髴せしむる梯子昇りに全町を練り歩き了つて新川堤で模擬火災演習を行ひ平署會議室に於て模範優良組員の表彰を行ひ慰勞の宴を張る筈である

古河から八百圓

在滿兵慰問金纏まる

好間村古河鑛業所及在鄕軍區へ送金した

町民有志五百名

年頭の祝酒を酌む

けふ聚樂館で開く

新年祝賀名刺交換會

平町有志の新年祝賀名刺交換會は今一日午前十一時から氏名を印刷し縣社子鍬倉神社の神符に添へ郡出身の在滿兵へ送る筈である

日活 松竹 平館 松田卯次朗 電四六六番

磐城平松ヶ岡公園 割烹 ときは 電話二二六

割烹 末廣 平田町 電話四二一

磐城平町二の四三 越の家 電話三三〇番

鈴木齒科醫院 平南町電話二二二

武藏鐵工所

青木寫眞館 電話四二二番

鶴屋商店 福島縣平町四丁目 電話一四〇番

小野屋藥店 電話一四四番

湯本區會議員

西原末吉 御代富彌 金成嘉吉 生田目嘉清 高橋勇五郎 須藤熊雄 若松孝平 鯨岡誠祐 佐藤惡兵衛 渡邊修一 若松修一 （議席順）

（湯本町會議員）

若松孝平 松繁庄一 比佐賢司 村上六平 小井戸大次 比佐源造 大和田主馬造 石川德壽 宮本利一郎 矢吹佐市 鯨岡愿道 鬼澤八百松 上川才松 渡邊長作 鯨岡賢司 小野福次郎 矢吹莊司 木村德三郎 （議席順）

有限責任信用組合 平庶民金庫 平町二丁目 電話四九三番

平土木監督所 瀧本達四郎 中里虎男

湯木町長 小泉三代喜

大野村助役 大谷伊佐吉

大浦村長 渡邊金治

搔槌小路 ライト寫眞館 電話五三五番

カフエー 松ヶ岡 高橋武

電機々械 田邊商店 電話二九四番

平町三丁目 諸鳥雞卵 鳥留商店 電話三八〇番

平町長橋町 清野彥四郎

平町一丁目 和久井屋漆器店 電話四〇五番

銘酒正宗發賣元 和洋酒鑑詰問屋 白菊 廣瀨支店 平町田町電五四番

平町一丁目 和洋紙文具 坂本紙店 電話一八番

平町四丁目 松本屋菓子店 電話二一四番

平町 田卷香油店 電話四一五番

平材木町八番地 櫛田榮太郎 電話二四八番

土木建築請負業 前澤文太郎

田町 梅の湯 增子富治

四倉藝妓屋組合

社員募集 シンガーミシン會社 平町一丁目

海嶽寺 花澤賢有

早川自動車部 早川祐次 電話二二三番

時計貴金屬 常磐屋時計店 平町一丁目 電話三三九番

大浦村助役 高崎義男

草野村長 鈴木長壽

四倉驛長 二階堂寬

平田町 御料理 ビリヤード 一の井 電話一六七番

平料理屋組合

好間尋常高等小學校 校長 仲村辰四郎 外職員一同

大谷時計病院 平町 電話十九番

好間郵便局長 木田彌作

履物問屋 三井商店 平町二丁目 電話百五十六番

關內正一 平町二丁目

片倉磐城製絲株式會社 工場長 辰野賢造

片倉製絲紡績株式會社岩代製絲所 福島縣石城郡平町 所長 春日題一

片倉製絲紡績株式會社 福島蠶種製造所 郡山市原田 所長 片倉貞一

片倉製絲紡績株式會社仙臺製絲所 福島市五十部 所長 本田稔

片倉製絲紡績株式會社兩羽製絲所 宮城縣仙臺市東八番町 所長 片倉源重

岩手縣是製絲株式會社盛岡工場 山形縣東置賜郡高畠町 工場長 新村榮

岩手縣是製絲株式會社高田工場 岩手縣盛岡市下厨川 工場長 今井準平

岩手縣是製絲株式會社千厩工場 岩手縣氣仙郡高田町 工場長 今井省三郎

片倉製絲 東北監督 野崎熊次郎 岩手縣東磐井郡千厩町 仙臺市東八番町片倉仙臺製絲所內

小田吉治

磐城水產工業株式會社 小野晉平 福尾伊太郎

高橋龜松 平町白銀町

石城郡町村長

石城郡自動車運轉手會 會長 佐藤新之助 副會長 坪內清 外役員一同

ホシチエントストア平支部 株式會社 星製藥磐城配給所 平町三丁目二十番地

平砂糖商組合

謹賀新年

新年所感

帝國在郷軍人會
石城郡聯合分會長
山崎清三

新春の佳辰を迎ふる毎に吾念は物然と立つて國民的後々はこの日本に生れたる事援となり慰問激勵の運動はの得も謂はれざる喜びと幸日に增して盛んになつて來福とを感ずると共に我等の師ち外に在ては大宗家である　皇室の

御盛德と歷代天皇

の御偉業の鴻大無邊なるを偲び奉り感泣を禁じ得ないのである。この偉大なる御盛德と傳統的なる國民の義勇奉公の赤誠とによつて我等の國家は前代不易の基礎を固め微動だもしないのである。今回滿洲事變物發に際しても國民は期せずして奮起した滿蒙は我國の生命線である

滿蒙の權益は正當

なる我國の權利である、吾々は日本の生存權擁護の爲に之を死守しなければならぬと絕叫した國際聯盟の認識不足による壓迫に對しても斷然として戰つた吾々は現在に於ける此の暴經濟封鎖怖るるに足らずと國一致の氣分を永く忘れず相共に心を一にして力を協せて忠君愛國の丹心を錬り

出來る國民である

ことも判り非常なる心强さを感ずるものである我國は今や滿蒙問題の外に幾多の國難に遭遇して居る現して來た日本の强い理由も國內的にはもとより世界列國に於てもはつきりと認識されて來た、いざとなれば一致團結よく難局を打開する事の

正義に基く行動が

着々とその功を收め官に於て伏見會長、伊東主事其他多數臨席嚴肅なる地鎭祭を執行すると內に在てはそれに對する後援が全國的に白熱し外に向て働く者內に在て働く者其の兩方の氣合が間隙なく一致して擧國一致盡忠報國が此の事變を機會に充分に表

奮鬪と百折不撓の

努力とを以て朔風吹き荒ぶ滿蒙の野に轉戰し極僅かなる兵力を以て十數倍に餘る支那の大軍を瞬く間に突破し恰も無人の境を行く如くである昔から兵は迅速なるを尊ぶと言つてゐるが實に我軍の神業には列國も非常に驚愕した正義の日本の主張は遂に勝つた。此度の事變は實に容易ならざる國難であつた國民も眞劍じあつたが殊に

軍部は張り切れる

愛國的赤誠を以て決然と起つた政治家も財政家も完全にリードされた軍部の偉大なる働きに依て我國は救はれた、就中滿蒙死守の第一線にたつた我第〇師團を主幹とする將士の活躍は非常なものであつて此等に勇士對する國民感謝の

武勳を宇內に輝し

以て祖國に報ずる所業を勵み以て臣子の本分を盡さん事を期さねばならぬと共に在滿の將士諸君は益々自重自愛此の重任を全うし赫々たる

產業博

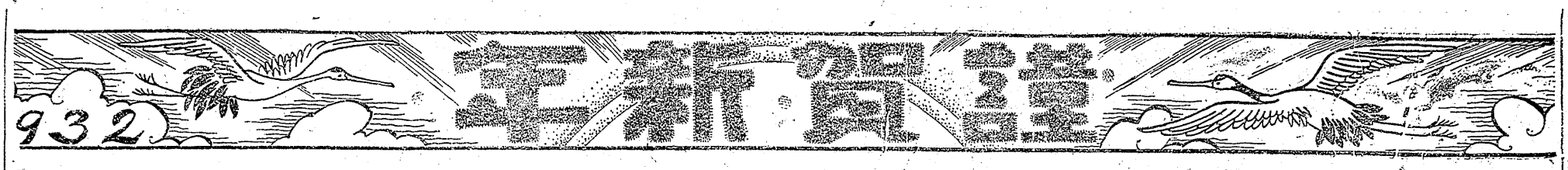
地鎭祭

來五日執行

來四月一日より五月十日迄四十日間平町に於て開かる昭和產業博覽會の準備は昨年末來着々進行中であるが愈々來五日を期し山部神

官により新川端の會場敷地に於て伏見會長、伊東主事其他多數臨席嚴肅なる地鎭祭を執行すると

矢吹醫院　矢吹大輔　電話二六六番
鈴木眼科醫院　鈴木亮　電話四三八番
吉田眼科醫院　吉田安雄　電話六八番
大和田耳鼻科醫院　大和田郡司　電話一七〇番
松村病院　松村鐵郎　電話一〇七番
藤沼醫院　藤沼平次郎　電話五〇七番
大森醫院　大森勇　電話二五八番
酒井醫院　酒井國三郎　電話五五番
金成醫院　金成忠義　電話三五八番
平町三丁目　大黑屋洋品店　電話一一六番
田町　中島寫眞館
共榮商會支店　電話一四七番　荒川俊一
田町　大貞　電話四一三番
フランス式　宮川理容所　平驛前
昭和タクシー　電三四三　平驛前
福島モーター　磯貝信夫
平町二丁目　西村藥舖　電話三番
平町三丁目　家具箪笥漆器雜貨　丸はん　電話長三百五十九番　口座東京二一七二四番
平田町　石川亭　電話四三番
平三業組合
四倉漁業組合長　長谷川長八
水野屋菓子店　電話七番
中野浩忠　東京市麴町區飯田町
堀江工業株式會社　專務取締役　長江口忠一　社務取締役　鈴木唯治
長岡義守　石城郡湯本町
木田剛　中野康平　石城郡大野村
矢吹豐　石城郡夏井村
立憲政友會福島縣支部　支部長　八田宗吉　幹事長　鈴木辰三郎
合資會社　鈴木佐市　石城郡內郷村
四家又一　內郷村高坂
阿部政右衛門
平町長　伏見彥衛
小野晋平
飯野村長　伊藤淺之助
平警察署通り　鐵道省御用　久保田パン店　電三八三番
平町南町（平館通）　岡山寫眞館　電話六一五番
東部電力株式會社　四倉變電所　主任　柳沼三郎　職員　菅家長夫　同　山田德　同　高木久藏
四倉信用組合
四倉青年團長　菊地正一
四倉消防組頭　石井鐵三郎
四倉町收入役　遠藤安次郎
大野消防組頭　木村庄助
新妻藥店　電話九番
船主　菅波末吉
平材木商業組合
平運輸株式會社　電長二一七・三七番
平田町　世界館　壽々喜亭興行部　電話（營業用四四六番　自宅用五八番）
土木建築請負業　猪狩菊三郎　電四七三番
土木建築請負業　佐々木健一郎
磐城共濟病院　院長　醫學博士　石山謙郎　本院主管　賀澤定治　電話六四一番
平町旅館組合
大床　石崎幸一　平町田町　電一八八番
叶田清　好間村
三九二タクシー　電話四四九・三九二番
平田町　各學校會社御用　大塚支店　製靴部　運動具部　主　大塚鳳二郎　電話七七番
平町二丁目　大一屋商店　電十三番
上田外科醫院　平町南町　電話一二九番
平消防組
植田郵局長　馬上守一
平町二丁目　中野洋品店　電話五三番
平町研町　吉村製綿店　電話二五七番
大野寫眞館　平町中田町
磐城新聞社同人　蓮沼龍輔　柏木哲　安齋利三郎　國井榮三郎　綠川松太郎　會川孝太郎　室越鶴次郎　橋本清二郎　鈴木正一　鈴木光治　馬目忠吾
謹賀新年　植田支局　渡邊義一　四倉支局　大谷義隆
平町南町　鈴木染工場　電話四九二番
四倉町　旅館　旭館　貸切自動車の御用命旭タクシーへ電話七一番
鱗屋醬油店　電話一〇八番
喫茶ト洋食　カフエーサービス　四倉新町
年賀欠禮　上小川村　草野正壽
平銀治町　草野央



平四丁目 關内藥局 電話四千弐

大村屋旅館 大村一郎 電話一七五

平町四丁目 マルトモ 柴田書店 二三四・五九七 一八五・一二三

高久病院長 高久忠

大滿燒 御料理 松本樓 電一一三

高久村役場 村長 鈴木喜太郎 助役 本馬武 外吏員一同

平町私公立 學校長 懇和會

安島重三郎

金成通

植田水力電氣株式會社 社長 金成通

越賀炭礦 唐虫無煙 礦主 直井藤太郎 石城郡飯野村

平看護婦會 會長 清野キヨ子

釜屋商店 諸橋久太郎 諸橋元三郎

セロン防火劑東北發賣元 福島縣平町字白銀町 東北セロン商會 櫻井清 外社員一同

金成國雅 平町鎌田

村會議員 佐藤三平 石城郡内郷村

東部電力株式會社 平營業所

山田勇太郎 平町三丁目

新家芳美 平町新川町六

平町六丁目 木村外科醫院 電三〇九

實川醫院

磐城無盡商會 小宅嘉久治 平町大町

レストラン サロン 電三五二

平新川町 木村病院 電一六四

平町田町 三二三屋 電話三二三

郡山無盡株式會社 平出張所 田町一電六五番

平町二丁目 折詰仕出 藤市蒲鉾店 電話三〇五番

平町二丁目一六 處方調劑 一般藥品 醫療器械 藥劑師 堀功 電話三二六番 堀藥局

衛生牛乳 岡田牛乳舍 電話五一番

平町四丁目 伊勢屋商店 阿部唯次郎 電話四五番

佐藤榮吉 平町六丁目

平土木監督所長 小林清吉

東部電力四倉變電所 東部電力四倉營業所

四倉醫師齒科醫一同

平町田町 ハシモトヤ糸店

平運送合資會社 色川光以

湯本町 高級旅館 松柏館 比佐榮一

磐城建物株式會社 取締役支配人 井上貞次郎

錦村消防組頭 山崎登

株式會社日立製作所 日立工場

古川傳一

千葉彦治

赤堀信平 東京市外瀧野川町西大原六九二 電話王子一三六三番

四倉町 榮屋 波多野商店 波多野榮治

一品御料理釜めし 大漁亭 電話五一番

洋印御料理 小松屋 椎名忠太郎

西洋料理食肉販賣 武田肉店バー

四倉町新町 深谷藥店 電二八番

フランス料理 美奈登家 四倉町

四倉町 面川龜之助商店 電話十一番

海産物商 吉田彌十郎商店 電話四倉二五番

旅館 海氣館 貸切自動車部 電話五番

くすりアワセマス 四倉藥局 藥劑士 大田政市

四倉本町 鈴木精米所 鈴木茂助 電話二六番

四倉町 荒川藥舗 電話百二十番

江名漁業組合 組合長 佐藤德太郎

江名信用組合 理事 太清左衛門

福島モーター商會 專務取締役 大森義一

温泉旅館 山形屋 鈴木康平 電話四番

ヤマフル 山崎合名會社 電話 本店 二七番 營業部 一〇番

湯本信用無盡株式會社

代議士 木村清治 比佐昌平

縣教育會石城部會

平藝妓屋組合

好間村役場吏員一同

好間村會議員一同

多田井笑次郎

平町一丁目七番地 合資會社 平銃砲火藥店

平町一丁目 藤寅蒲鉾店 電話一四一番

山田忠太郎 平町三丁目

内郷村長 野木龜之助

皇恩會洋服裁縫教習所 小松洋服店 搔槌小路十二番地

三井自動車部

靴カバン 福山靴店 搔槌小路

平町 草野染工場 電話三四八番

喪中欠禮 百澤商店

平町三丁目 齋藤寫眞館

加藤丈夫